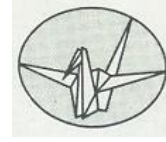




被団協



● 発行所
 北海道被爆者協会
 札幌市白石区平和通
 17 丁目北 6-7
 北海道版 北海道ノーマア・ヒバクシャ会館内
 TEL/FAX 011-866-9545

北海道被爆者協会

ホームページ [http:// h-nomore-hibakusha.org](http://h-nomore-hibakusha.org)

メール dohidankyo@poppy.ocn.ne.jp



2月4日、原水協を中心とする実行委員会主催で、3・1ビキニデー北海道集会在札幌のクリスチャンセンターを会場に開かれました。北海道被爆者協会も事務局団体のひとつです。静岡を別にすれば、3・1集会を県独自に実施しているのは他にないようです。

宗教者平和協議会の殿平善彦さんは「市民の、民衆の平和への意志

核兵器のない世界実現のために日本政府はイニシアチブの発揮を
 — 3・1ビキニ北海道デー集会 —



が国家の戦争への欲望を超えていく意志結集の場だ」と主催者挨拶。被爆者協会の廣田会長が代表献花をしました。次いで参加者一同で平和への願いを唱和、そして被災船乗組員の証言が紹介されました。

高知の平和資料館草の家の副館長岡村啓佐さんが、戦後のアメリカの隠された核政策を明らかにし、広島・長崎、ビキニ事件、3・11とながる歴史を一連のものとして説明。ビキニ被ばく船員訴訟に触れ、「私たちは核時代に生きる当事者、3・1の取り組みは核禁条約第6条の実践」と講演しました。

最後に、集会決議を確認し政府に送付するとともに、原爆の火を維持する募金の訴えがありました。

議員ウオッチ47北海道へ

3月7日議員ウオッチ47のメンバー（NO NUKES TOKYO）が19番目の県として北海道に入り、札幌市区政課の平和事業の説明を受け、高校生平和大使たちと交流し、道議会各会派の議員とも懇談、8日午後にはヒバクシャ会館を訪ね金子廣子さんの被爆体験を聴きました。統一地方選を前に、核兵器禁止条約批准に向けての機運を醸成すべく精力的に行動しました。

道議会各会派は定例道議会の空き時間をぬって真摯に懇談に応じてくれました。核兵器禁止条約は国政の問題、という認識が強いのが気になりました。私たちも地域の課題と結びつけてどう運動として進めるか、課題が見えてきました。

再三の要請にもかかわらず自民党が懇談に応じてくれなかったことは残念です。

なお、全国の取り組みとして、静岡・焼津で4年ぶりの3・1ビキニ集会が開かれました。



上段右から、会館を訪ねた高橋君と徳田さん。7日、札幌市区政課の説明を聞く、夜は高校生平和大使らと交流。下段右から、民主・道民連合(7日)、北海道結志会・日本共産党・公明党各議員団との懇談(8日)

